

就任あいさつで来社

福島医大医学部泌尿器科
学講座の小島祥敬教授は

日、就任あいさつのため福
島民友新聞社を訪れた。

小島教授は「大学からの
23年間、名古屋を拠点にし

てきた。東北勤務は初めて
で不安もあるが、震災で困
っている人々のため役立ち
たい」と意気込みを語った。



県民のための医療を

話す。
自然豊かな岐阜県

泌尿器科学講座の教授に就
任した。「震災からの復興に
向かう中で、県民のための医
療を実現させるために微力な
がら役立ちたい。地域医療の
担い手が育つよう、学生や研
修医たちと真摯に向き合い、
魅力的な医学教育を提供した
い」と抱負を語る。

【メモ】岐阜県出身。名古屋
市立大医学部卒。同大学院医
学研究科腎・泌尿器科学分
野講師を務めた。42歳。

各務原市で生まれ育ち、生命
に対する興味を培った。宇宙
環境における生殖医学につい
てNASAと共同研究を行う
など、幼少からの旺盛な好奇
心が生きている。

診療や教育、研究を行う上
で、最も大切にしているもの
は「和」。「和」は相乗効
果をもたらし、未来を切り開
く」と力を込める。

(報道部・藁谷直子)

顔

福島医大医学部
教授に就いた

小島 祥敬さん

泌尿器科学講座の教授に就
任した。「震災からの復興に
向かう中で、県民のための医
療を実現させるために微力な
がら役立ちたい。地域医療の
担い手が育つよう、学生や研
修医たちと真摯に向き合い、
魅力的な医学教育を提供した
い」と抱負を語る。

体への負担が小さく患者に
優しい腹腔鏡手術の専門家と
して、がんや先天性疾患など

大 泌尿器科学講座教授就任の小島氏
福 医 先進医療 充実図る

福島医大医学部泌尿器科学講座教授に就いた小島祥敏氏は一日、福島民報社のインタビューに応じ、先進医療普及などによる県民医療の充実に全力を挙げる決意を示した。

―就任の抱負を。
「東日本大震災や東京電力福島第一原発事故で県民は大変な苦勞をされている。先進医療や地域医療の提供をしっかりとやりたい。放射線の問題に関して、県民が健康にどん

な特徴で、がんや先天性疾患などの手術をしてきた。より細かな処置を可能とする『ロボット』を使った腹腔鏡手術など、先進



こじま・よしゆき 岐阜県各務原市出身。名古屋市立大医学部卒。名古屋市中区山市民病院泌尿器科副部長、名古屋市中区立大大学院・泌尿器科学分野講師などを歴任。42歳。

導入など 積極的な 先進医療の 充実を図る 小島教授 による医療 への強調

医療の技術をフランスや米国に留学して身に付けた。今後も、世界の先進医療を積極的に導入していく。

―研究面の実績は。
「排尿機能や生殖機能の障害に関して研究してきた。患者の生活の質を維持すること

を重要視している。平均寿命が延びても、生活の質が伴わなければ、本当の意味の長寿国とは言えない。優れた研究成果を県内から世界に発信した

「医療の技術をフランスや米国に留学して身に付けた。今後も、世界の先進医療を積極的に導入していく。」
―研究面の実績は。
「排尿機能や生殖機能の障害に関して研究してきた。患者の生活の質を維持すること

を重要視している。平均寿命が延びても、生活の質が伴わなければ、本当の意味の長寿国とは言えない。優れた研究成果を県内から世界に発信した